

公益社団法人 信和会 看護奨学生だより

2024年1月号

公益社団法人信和会 看護部長 鴨川聡子



新春のご挨拶を申し上げます。

昨年から新型コロナウイルスが5類に分類され、感染症における状況に大きな変化がありました。様々な制限が緩和され、街中の人混みでもマスクを付けている人は1割程度でしょうか。しかし、医療現場では、毎日の診療でコロナウィルスやインフルエンザの感染者への対応は続いています。また、職員から患者・利用者への罹患が無いように細心の注意と様々な対策を講じながら、日夜奮闘しております。これから3月までの期間に看護師国家試験や臨地実習を控えている看護学生も多く、慌たたくも大切な期間になります。しっかりと体調管理をしていただき、無事に桜の季節を迎えられることを願っております。 本年もよろしくお願いいたします。

京都民医連あすかい病院 事務長 小林智裕



奨学生のみなさん、あけましておめでとうございます。

世界では女性・子どもをはじめ多くの方の命が奪われる戦争・大量虐殺が行われています。私たち民医連職員は、平和への願い、命の大切さを発信することが求められていると思います。

あすかい病院は、地域のみなさんと一緒に健康で住み続けられるまちづくり、だれも置き去りにしない医療・介護をめざして全職員が奮闘しています。みなさんと一緒に地域・患者さんのためにがんばりたいと思います。共に悩み、育ち合う、こんな職場にぜひ来てください。

京都民医連あすかい病院 副看護部長 山際正樹



あけましておめでとうございます。

皆さんは、年末年始を少しゆっくりすることができたでしょうか？新たな年となり、こころ新たに学業に励んで下さいね。卒年の人たちは、いよいよ国家試験が迫ってきました。今まで頑張ってきたことをいつも通り挑めばきっと大丈夫です。まずは体調管理を徹底しましょう！

卒年以外のみなさんは、実習・講義がどんどん専門的に難しくなってきますね。卒年になったときに少しでも自分が楽になれるように、今を大切に学業に励んで下さい。もちろん、コロナ禍でできなかった遊びも大切に！！

京都民医連あすかい病院 副看護部長 谷淵未生



明けましておめでとうございます。

新型コロナ感染症が5類になってからの年末年始、いかが過ごされたでしょうか。インフルエンザ他、さまざまな感染症の流行も続いています。あすかい病院では感染症かもしれない患者さんについて、断らずに受け入れる努力を行ってきました。しんどい時にすぐ診てくれる病院を目指して職員一丸となり頑張っています。

看護職として、患者さんと自分や周りの人を守る感染対策の知識や技術の大切さを学ぶ機会となりました。年度末に向かって、学生生活をしっかり楽しんでください。みなさんにお会いできるのを楽しみにしています。

あすかいプロジェクトの取り組み

あすかい病院では12月16日に、あすかいプロジェクト、通称“あすプロ”を開催しました。あすプロは、コロナ禍で開始した食糧等の支援プロジェクトです。年2～3回を目標に、あすかい病院の有志職員が集まり開催しています。主な内容は、食料・日用品・衣服類の支援と、生活相談です。

当日は雨でしたが、たくさんの方が列に並び、切実な生活相談も3件あり、MSWや中川院長が相談を受けたりしました。お米10合、日用品、衣服類を配布できるよう準備し、128名の方に支援物資をお渡しすることができました。

あすかい“食支援”プロジェクト



◎支援物資お渡し数：128名
◎スタッフ参加数：29名



また、奨学生3名もボランティアで参加してくれました！！

当日は衣服類と雑貨を担当することになり、たくさん集まっていた衣服類と雑貨の仕分け・整理からお渡しまで大活躍をしてくれましたぐ(*´▽`*)

物価高が収まらない年の瀬に、困難な状況にある多くの方に物資が行きわたったことをうれしく思います。また、来年も継続して開催していく予定です。これからも一緒に、一つでも笑顔が増える社会を作っていきましょう。

京都民医連看護介護学会開催



9月23日に京都民医連看護介護学会が開催されました。2022年5月から約1年半をかけて、京都民医連に所属する看護・介護事業所が取り組んできた看護・介護研究の発表会です。全体で、53演題が発表されました。

最初のシンポジウムでは、『ケアのデザイン in 京都』のテーマで、3人の方（摂食障害を支援するNPO 法人代表・認知症サポートネットワーク京都代表・多様性を受け入れるカフェ運営代表）からお話を聞きディスカッションが行われました。



その後は、5会場に分かれて口演と示説発表が行われました。あすかい病院からも5演題を発表し、最後は、学会のスーパーバイザーから講評を受け終了しました。皆さんも入職後に発表することもあると思います。頑張ってください！



あすなる保育の紹介



あすかい病院には「働き続けられる職場」づくりのために、あすなる保育所があります。

あすなる保育所は産休・育休終了後の、職場への復帰に利用できます。

今回、あすなる保育所の保育士の先生に突撃インタビューをしてみました。

<大切にしていることは？>

職員の子どもをお預かりしているので、家庭的な雰囲気を大事にしています。例えば「おかえりなさい」といって声をかけたり。そのままほっとして帰れるような保育所を目指しています。

<嬉しいことは？>

お母さんから相談を受けたりすることが多いです。そして「安心して預けられる」といっていただいたりするとき、とても嬉しいです。

安心して
入職してね



あすかい病院 キラッと看護の紹介



急性期一般病棟でのキラッと看護（ケア）をご紹介します♥

急性期一般病棟は、全身状態が不安定な患者さんや人工呼吸器を装着されている患者さん、緊急入院が必要な重症患者さんなどを受け入れている病棟です。

入院後は、点滴などの治療や診断のための検査など、多くの診療の補助行為があり、看護ケアにゆっくりと時間を使うことができない日もありますが、先日、看護師が協力して病棟の患者さん方に足浴をさせていただきました。

足浴は、温めながら足を洗浄するケアで、全身浴に比べて身体への負担が少なく、足の疲れをやわらげたり、足先の血流量を改善して全身の血行を良くし、リラックス効果や安眠快眠効果があるといわれています。

入浴剤を入れての足浴はとても気持ちがよかったと患者さんに喜んでいただけました。これからも患者さんに喜んでいただけるケアを続けていきたいと思えます。

訪問看護ステーションたんぽぽの紹介



訪問看護ステーションたんぽぽでは、小児から高齢者、予防看護からお看取りまで、さまざまな医療ニーズに対応しています。

また、近接のあすかい病院や地域の医療機関・開業医と日々情報共有を行い、利用者さんの状態に合わせた迅速な対応につなげています。

常勤看護師7名 非常勤看護師6名 事務1名のスタッフが働き、自転車・バイク・車で京都の四季を感じながら、主に左京区を回っています。

訪問看護は、一人一人にじっくりと向き合うことができ、利用者・家族の思いに寄り添いやすい環境があることが魅力の一つです。小児から高齢者まで疾患も様々ですが、多職種と連携し、医療と介護の橋渡しを行います。

一人で訪問に行く事に不安を持つこともありますが、スタッフ全体で共有しカンファレンスを行い、不安の軽減に努めています。

学生のみなさんも実習期間で訪問看護の魅力を感じてもらえた方も多いいと思います。是非、一緒に働けることを願っています。